



ひゅーまんらいつ

第50号 平成16(2004)年12月

よなごの人権フォーラム'04

暮らしにいかそう！人権 を終えて

12月12日に「暮らしにいかそう！人権」をテーマに、「よなごの人権フォーラム」を開催いたしました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

● 基調講演

江嶋修作さん（解放社会学研究所 所長）

ユーモアのある軽快な語り口のなかに、重要なポイントは逃さない江嶋さんの基調講演は、多くの示唆に富んでいました。

人権教育とは、「何を、どのように変える」ために行われる教育なのか。今まで当たり前だと思っていた「ものの見方」を変えるために行う教育、といえるのではないだろうか。世間で「多数派」といわれている集団の基準が、「少数派」といわれる集団や個人に押し付けられている。例えば、建物が障がいがある人の視点で造られていなかったり、少数派を差別することで社会や心のバランスを保っていたりと、社会には同じような例がたくさんある。

物事の見方や理解、世間への気遣いは、少数派の視点に立つてみることで大きく変わる。この点を議論の出発点にしたい。

● シンポジウム

コーディネータ：江嶋修作さん

パネラー：植村ゆかりさん

（米子市手をつなぐ育成会会長）

小山 透さん

（NPO 児童自立援助ホーム
ピアホーム ホーム長）

植村さんは、障がい児の親として養護学校 PTA 副会長を務めておられるとともに、手をつなぐ育成会の会長、小規模作業所の運営者として、積極的に活動しておられます。

小山さんは、平成15年4月に「ピアホーム」を開設され、義務教育終了後の自立支援が必要な子どもたちと、生活を共にしながら相談、日常生活の支援をすることで、子どもたちの社会的自立を図っておられます。

人権教育とは、「何を、どのように変える」ために行われる教育なのか。

今まで当たり前だと思っていた「ものの見方」を変えるために行う教育、といえるのではないだろうか。

世間で「多数派」といわれている集団の基準が、「少



■ 提起

植村さん

障がいのある人が、社会的に自立できること、地域社会で「ふつう」に暮らすことができることをめざして、そのためにはどうしたらいいのか、周りの人と一緒に考えていきたい。

小山さん

虐待を受けた子どもたちは、孤立しており、権利主張もできず、安心して相談できる人間関係もなく、心を閉ざしている場合が多い。現代の子どもたちが抱えている命の叫び声、SOS に大人たちが気づいてほしい。

（裏面に続く）

■ 討論の内容

障がい者に関わる問題では、学校卒業後の生活・就労について、保護者だけの責任に押しつけるのではなく、地域社会のなかで支えあうことができる環境をつくっていくことが必要。

現状では経済的な自立が難しいので、行政が何らかの仕掛けをすることにより、自立に向けた環境整備がより進むのではないだろうか。

児童虐待は、その親も虐待を受けていたなど、心に何らかの傷をもっている場合が多いと言われているが、それぞれのケースで全て状況・背景は異なる。個々のケースに応じた対応が必要。

障がい者に「ふつう」に接するとは、ありのままを受けとめること。人間はみんな同じ権利をもっているが、一人一人はみんな違う。違うからこそ面白い。障がいの有無ではなく、一人の人間として接する気持ちが大切なのは。

■ まとめ

パネラーをお願いした植村さん、小山さんがそれぞれ関わっておられる人権問題は、社会的に強い立場といわれている多数派の人々から、立場の弱い少数派の人間に対して向けられる様々な偏見や差別、無知、無関心の現われではないか。

これから私たちが歩むべき道は、この関係性を見つめ直し、みんなが安心して暮らせる社会を作っていくことであり、そのために、私たち一人一人には何ができるかを考えていくことである。

当日は、フロアからの発言も多くあり、充実した内容となりました。

江嶋さん、植村さん、小山さんをはじめ、ご協力いただきました皆さまありがとうございました。



第30回 米子市人権・同和教育研究集会

～みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう～

「人権の世紀」と呼ばれる 21 世紀を迎え、人権に対する正しい知識を深め、お互いの人権を尊重しあう社会を築くことが一層強く求められています。

米子市では、市民の人権意識の高揚と学習活動の充実を図るため、米子市人権・同和教育研究集会を開催します。



日時 平成 17 (2005) 年 1 月 20 日 (木)

全体会 米子コンベンションセンター多目的ホール

午前 9 時 20 分から 12 時まで

基調提案

意見発表 『勇気を出して』

吉野 珠美 さん (米子市立福米西小学校 5 年)

『地域における社会教育の実践』

森田 隆 さん (成実地区同和教育推進協議会)

記念公演 『私のお父さん』 (人権劇) 劇団「ピュア」

【お問い合わせ先】

第 30 回米子市人権・同和教育研究集会実行委員会

事務局：米子市人権政策課 電話 0859-23-5415

分科会 米子コンベンションセンター 会議室 他

午後 1 時 30 分から 4 時 30 分

就学前、学校、PTA、地域、行政職域、企業での取り組みについて、7つの分科会に分かれて行きます。

年末年始のお知らせ



今年一年、人権情報センターをご利用いただきありがとうございました。

来年も引き続きよろしく願いいたします。

休館日 12月30日(木)～1月4日(火)

お詫び

「今月の本棚」はお休みさせていただきました。



米子市人権情報センター (人権政策課内)

URL : <http://yonago-city.jp/jinken/>

米子市東町 161 - 2 0859-37-3183 Fax0859-37-3184